

教育大綱主な変更点

3 基本方向

基本方向1 未来を担う子どもが、健やかにのびのび育つ環境づくり

グローバル化や人工知能の飛躍的な進歩により、加速度的に変化する社会に応じた教育が重要です。町の子供たちがより広い視野をもち、予測が難しい社会の中で生き抜く力を付ける実践的教育が必要です。そこで、今までの学校教育のよい点と今後対応すべき課題から、子供一人一人と向き合い、個に応じた重点的な学習を行い、特別配慮が必要な子供も含め個々の状況に応じて個の能力を最大限に引き出す、地域とともにある学校を目指し、学校と地域が一体となって教育を行うことを重点として取り組みます。

基本方向1 社会の変化に対応し、町の特徴を生かしながら、町全体で未来を担う子どもを育む教育を推進する。

グローバル化や人工知能の飛躍的な進歩により、加速度的に変化する社会に応じた教育が重要です。町の子どもたちがより広い視野をもち、予測困難な社会の中で生き抜く力をつける実践的教育が必要です。そこで、今までの学校教育のよい点と今後対応すべき課題や、町の人口動態などを含む社会的変化、地域の特徴である自然とそれに係る文化から、未来を担う子どもにとって望ましい環境づくりを推進します。また、子ども一人一人と向き合い、個に応じた重点的な学習を行い、特別に支援が必要な子どもも含め、個々の状況に応じて個の能力を最大限に引き出す教育の充実を図ります。地域と課題を共有し、地域とともにある学校を目指し、学校、幼稚園と地域が一体となって教育を行うことを重点として取り組みます。

基本方向2 一人一人が生涯を通して学ぶことのできる環境づくり

人生100年時代、超スマート社会（Society5.0）に向けて社会が大きく変化する中、町民一人一人が生涯を通じて学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供など、生涯学習社会の実現のための取組が重要です。生涯学習を通して、人づくり、つながりづくり、地域づくりが本町としても一層必要です。そこで、価値観が多様化する中で、心の豊かさや生きがいの充足の機会、多世代の交流、社会教育施設を通じた様々な施策の展開、社会全体で子供たちの学びの支援をするなどの教育を行うことを重点として取り組みます。

基本方向2 一人一人が生涯を通して、「ひと」、「まち」が つながり合う学びを推進する。

人生100年時代、AIやロボットなど最新テクノロジーを便利に活用する超スマート社会（Society5.0）に向けて、社会が大きく変化する中、町民一人一人が生涯を通じて学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供など、生涯学習社会の実現のための取組が重要です。生涯学習を通して、人づくり、つながりづくり、地域づくりが、本町としても一層必要です。そこで、価値観が多様化する中で、心の豊かさや生きがいの充足の機会、多世代の交流、社会教育施設を通じた様々な施策の展開、社会全体で子どもたちの学びの支援をするなどの教育を「いつでも、どこでも、だれでも」そして、「だれとでも」行うことができる本町の特徴に合わせた特色ある学びの充実を、重点として取り組みます。

○重点方針の変更点

重点方針2 滑川ならではの資産を生かした多様な教育機会の創出

○町で継承されてきた独自性のある伝統的な農業と、それに密接にかかわって育まれてきた文化、環境、生物などのほか、特色ある文化、スポーツ等を通して、身近な場所で子供達が本物に触れ、町民全体が豊かな感性や創造性を育む機会を創出します。

重点方針2 滑川町ならではの資源を生かした多様な教育機会の創出

○町で継承されてきた独自性のある伝統的な農業と、それに密接に関わって育まれてきた産業や文化、環境などと町民が触れ合うことを通して、豊かな感性や創造性を育む機会を創出します。